

Newsletter



NO. 83 1999. 7. 25

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel:03-5470-2370 Fax:03-5472-7299 インターネットアドレス <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

日本教育情報学会 第15回年会

発表申込み受付中 (期間延長 8月20日まで)
参加申込み受付中 (事前参加受付 10月8日まで)

NewsletterNO.83でご案内のとおり、本年度の年会は11月に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催いたします。発表申込み期間を延長しましたので、発表ご予約の方で、お申込みがまだの方は、お早めにお申込みください。

また、参加お申込みにつきましても、下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加とご発表をお待ちしております。

期 日 1999年11月13日(土)・14日(日)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

所在地 〒151-0062 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 (Tel.03-3467-7201)

交 通 小田急線 参宮前駅下車 徒歩7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分

事務局 十文字学園女子大学 内 日本教育情報学会第15回年会実行委員会

日 程

11月13日(土)	11月14日(日)
9:30~12:00 研究発表	9:30~12:00 研究発表
12:00~13:00 昼 食	12:00~13:00 昼 食
13:00~13:40 総 会 学会賞表彰式	13:00~15:00 研究発表
14:00~15:30 シンポジウム	15:10~17:00 パネル討論
15:40~17:50 研究発表	
18:00~19:30 懇親会	

(1) シンポジウム

テーマ 「通信ネットワークを教育にどう活用すればよいか」

コーディネータ：芦葉 波久（十文字学園女子大学）

シンポジスト：後藤 忠彦（東海女子大学），坂元 昂（メディア開発センター）

岡本 薫（文部省）

2001年には全公立学校がインターネットにつながれる可能性が高まっており、今までも各所でインターネット等の教育での活用が研究されています。しかし、実際の教育でのインターネット等の活用となるとすでに様々な問題点が出てきています。これらの問題点と解決策を含んで、具体的な取り組み例、将来計画などについて議論したいと思いテーマを設定しました。

(2) パネル討論

テーマ 「新しい時代の生涯学習情報の利用」

コーディネータ：井上 透（オリンピック記念青少年総合センター）

パネリスト：国立婦人教育会館，都道府県の生涯学習センター，

国立オリンピック記念青少年総合センターの関係者に交渉中です。

これからの生涯学習を活発にするために、生涯学習施設において生涯学習情報を蓄積管理する動きが活発になり、そのコンテンツが充実してきています。これらの情報を有効に利用するためには、各所にあるコンテンツを相互に利用することができることが重要です。

様々なところで蓄積されている学習情報を学校や生涯学習施設等で共通利用するための、各種の問題点や共通利用の方向性などについて議論するために設定しました。

(3) 課題研究テーマ

課題1. 「総合学習における情報教育の取り組み」

コーディネータ：南部昌敏（上越教育大学），中村祐治（横浜国立大学）

新指導要領での「総合的な学習」の中で情報教育をどのように位置づけ、なぜ情報教育を行うのか、情報教育は必要なのか、必要であるならその理由は何なのか、今までの情報教育での「ワープロ・表計算・データベース」の三種の神器でいいのかという議論は続いています。これを打ち破るべき特色ある情報教育も各地で行われていることも事実です。このような実践を集めて議論したいと思います。

課題2. 「地域ネットワークの活用」

コーディネータ：村瀬康一郎（岐阜大学），久世 均（岐阜県生涯学習センター）

各県、各地域において様々な地域ネットワークの構築の計画が着々と進んでおります。各所のネットワークを各学校・家庭等と結び、教育にどのように利用するか、これによって何を目指し、何が成果として残るであろうか、その実際の問題点を含めて議論したいと思います。

課題3. 「生涯学習情報提供の現状」

コーディネータ：村瀬康一郎（岐阜大学），久世 均（岐阜県生涯学習センター）

国立オリンピック記念青少年総合センター，国立婦人教育会館をはじめとして、各県の生涯学習施設において生涯学習情報提供システムが各所で構築されています。それらの学習情報の構造等についての問題点について報告し、生涯学習情報提供の現状と問題点について議論したいと思います。

課題4.「遠隔学習・授業」

コーディネータ：加藤直樹（岐阜大学），井上 透（国立オリンピック記念青少年総合センター）
大学間での人工衛星を使った授業はすでに行われおり，テレビ会議システム，インターネットを使った遠隔授業などの技術革新も進んでいます。これらを用いて学習や授業がどのように変わるのか，価値ある結果が生まれるのか，問題点は何か等を議論したと考えます。

課題5.「インターネットと授業」

コーディネータ：木下昭一（聖徳大学），成瀬喜則（富山商船高等専門学校）
各学校がインターネットにつながれる時代になってきています。しかし，実際の授業でのインターネットの活用となるとすでに様々な問題点が出てきています。これらの問題点と解決策を含んで，具体的な取り組み例，将来計画などの応募を望んでおります。

課題6.「マルチメディア教材の開発」

コーディネータ：井口磯夫（十文字学園女子大学），堀口秀嗣（国立教育研究所）
各学校等にマルチメディアに対応したパソコン等が充実してきていることや，新しい学習指導要領に対応した教育を行うためにはマルチメディア教材の開発や利用が重要になってきています。そこで，マルチメディア教材の開発事例や授業での利用方法についての事例を報告し，新しい時代に対応したマルチメディア教材の開発について議論したいと思います。

(4) 一般研究発表

1) 発表申込者 会員及び会員に準ずるもの。

2) 発表分野

①本会定款第4条（目的）にあるように，「教育情報に関する研究」であれば，特に内容は問いません。教育情報は大きくみて，教育に関する情報と情報に関する教育が含まれます。

②これまでの発表セッションは次のとおりです。

教育情報一般，データベース，マルチメディア，メディア，教育用ソフト一般，学習ソフト開発，教材開発，情報システム開発，情報教育，情報処理教育，ツールソフト利用教育，シミュレーション学習，情報検索教育，教育用ソフトウェア，教育情報ネットワーク，ヒューマンインターフェース，インターネット，パソコン通信，学習評価，授業分析

3) 発表申し込み関係スケジュール（前回のご連絡から変更があります）

①発表申込締切 1999年 8月20日（金）（延長）

②発表決定通知 1999年 8月28日（土）（延長）

③論文提出締切 1999年 9月20日（月）

（申し訳ありませんが作業の都合で，少し早めました。）

いずれも締切日必着でお願いします。

4) 発表申込方法

①「年会一般研究申込書」に必要事項を記入の上，申込締切日（8月20日）までに，第15回年会実行委員会事務局（後記）へ送付してください。

② 研究発表会場で口頭発表できるのは，会員1人について一般研究1件だけです。口頭発表する会員を，申込書の「講演者」の欄に書いてください。

5) 申込書の書き方

- ①年会一般研究発表申込書は、一般研究発表1件について1枚とします。
- ②講演者とは、研究発表会場で口頭発表をする会員です。
- ③共同研究者は何人でもかまいません。
- ④概要はなるべく詳細に書いてください。
- ⑤キーワードとして、前記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。
- ⑥会場で使用できる機器は、書画カメラまたはOHP（教室による）とVTRです。パソコンは会場に用意できませんので、使用する場合は持参する機器の欄に記入してください。

6) 発表者への連絡

- ①発表者には、8月28日頃発表の可否を連絡します。
- ②発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ③論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

(5) 課題研究発表

1) 課題研究は前記(3)のテーマにより各分野から発表していただきます。

2) 課題研究の審査

- ①課題研究発表は、各テーマごとに担当コーディネータが発表概要を詳細に検討し、発表の可否について審査します。
- ②発表の可否は、発表内容だけでなく、全体の発表件数を考慮して決定しますので、発表否となる場合もあることをご了承ください。
- ③課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができます。

3) 課題研究の申込方法

- ①年会課題研究発表申込書（同封の申込用紙左側）に必要事項を記入の上、8月20日までに、第15回年会実行委員会事務局へ送付してください。
- ②他の事項は、前述の一般研究発表申込方法、申込書の書き方、発表者への連絡を参考にしてください。なお、記入の際に課題研究テーマ番号を該当欄に明記してください。

(6) 参加申込

研究発表をするしないに関わらず年会に参加される方は、同封の年会参加申込書（葉書）で、参加申込をして下さい。また、参加費などの振込用紙を同封してありますので期日までに払い込みをお願いします。

特に、国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊を希望される方は、事務局で取りまとめて一括して宿泊申込をします。期限を過ぎての予約、および当日飛び込みでの宿泊はできませんので、期日までに必ず参加・宿泊申込みのはがきを郵送してください。

1) 参加申込方法

参加申込書（葉書）に必要事項をご記入の上、第15回年会実行委員会事務局まで送付して下さい。送付の際には、お手数ですが切手をお貼り下さい。お支払いは、同封の郵便振替用紙をご利用ください。

期日までに申し込まない方は、当日参加扱いになります。また、国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊はできません。振込みは、若干事務手続きに時間がかかるため、下記

期日までとします。期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

参加申込締切 1999年10月 8日(金) 必着
振込期限 1999年10月20日(水) 郵便局窓口期限
郵便振替口座番号 00130-1-138663
口座名 日本教育情報学会年会実行委員会

2) 参加費

・会員の予約の場合

参加費 3,000円 論文集 3,000円 懇親会 4,000円

・当日参加・会員でない場合

参加費 4,000円 論文集 3,000円 懇親会 4,000円

(論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします)

3) 論文集の郵送申込について(年会に参加されない方のみ)

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

論文集 3,500円(郵送費、事務諸経費を含む)

(7) 宿泊について

第15回年会会場の国立オリンピック記念青少年総合センターは、宿泊館が完備しており、通常のビジネスホテルなみのシングルルームが1泊4300円で宿泊できます。研修棟の食堂での食事は3食合計で1,820円、また、宿泊館の最上階(9階)レストランでも食事がとれます。是非ご利用下さい。宿泊は、年会前日の11月12日及び13日に可能です。

国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊を希望される方は、事務局で一括して宿泊申込みをします。参加申込みの際に、合わせてお申込みください。

なお宿泊代金は、当日受付にてお支払いいただけます。参加費などと併せて振り込まないようご注意ください。宿泊予約者には別途10月下旬にご案内を送付いたしますので、しばらくお待ちください。

参加申込書送付先・問い合わせ先

送付先：〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28 十文字学園女子大学 内
日本教育情報学会 第15回年会実行委員会事務局 宛
TEL 048-477-0555 (代)

問い合わせ先：若山皖一郎 (wakayama@jumonji-u.ac.jp)

(郵便振替口座：00130-1-138663 口座名：日本教育情報学会年会実行委員会)

*****財団法人 科学技術融合振興財団 平成11年度助成金応募のご案内*****

この助成金は、科学技術の融合等に関する研究に対して、科学技術融合振興財団が助成金を交付し、調査研究を支援するものです。

研究課題は、

- ①シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究
- ②シミュレーション&ゲーミングによる教育用ソフトウェアの試作
(教育用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓蒙活動) です。

応募締切日： 1999年10月15日(金)

応募者の資格は、国内の大学・研究所等の非営利の研究機関に属する研究者で、正式部局員といたします。助成金は、1件100万円～200万円程度を基準に、総額1,500万円を交付します。研究課題の①及び②は理系だけではなく文系につきましても、助成事業の対象となっております。

●応募要項と申請書の入手先・申請書送付先●

〒223-0062 神奈川県横浜市港北区日吉本町1-4-24

財団法人 科学技術融合振興財団 (担当:事務局 丸山氏)

TEL 045-562-5432 FAX 045-562-6132 E-mail: kys01311@nifty.ne.jp

*******ユニセフと世界のともだち(改訂版)発行のご案内*******

財団法人日本ユニセフ協会は、小中学生用のユニセフ(国際連合児童基金)学習用小冊子「ユニセフと世界のともだち(改訂版)」を発行しました。

国際理解教育の重要性が叫ばれる昨今ですが、その学習に適した教材がなかなか見つからないというのが現場におられる先生方の正直な声ではないでしょうか。

「ユニセフと世界のともだち(B5サイズ・40ページ)」は、貧困、環境破壊、人口爆発など現代に生きるわたしたちが抱える地球規模の問題と、それを改善するためのユニセフの活動をイラストを使ってわかりやすくまとめてあります。また、そうした問題と自分との関連を見つめ、状況を改善するために「自分に何ができるのか」を考え、実行できる能力を高める学習を提案しています。

旧版は子ども対象の資料ではありますが、社会開発や国際協力などにあまりなじみのない大人の方々の入門資料として大変ご好評をいただきました。今回の改訂版発行にともない、さらにたくさんの方々にご活用いただければ幸いです。

この件に関するお問い合わせは

財団法人日本ユニセフ協会 学校事業部 (Tel:03-3355-3224)